

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/01/30		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586005302	科目番号 / Course code	05860053
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12711_005		
授業科目名 / Course title	現代経済と企業活動 (経済活動と社会) / Economic Activity and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	南森 茂太 / Minamimori Shigeta, 山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	南森 茂太 / Minamimori Shigeta		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shigeta373mori nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館625号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前後、およびメールにて受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	概要：1920年代から2000年頃までの日本経済のあゆみを、経済現象のつながりを意識して解説する。 位置づけ：日本の経済の歴史をふりかえり、その経済発展の過程を知ること、現代の日本や地域が抱える諸問題を解決していく能力を養成するためのひとつの礎とする。		
授業到達目標/Course goals	(1) 各時代の経済現象について、その発生原因と後の時代への影響を説明できる。 (2) ライフスタイルがどのように変化したかを説明できる。 (3) 経済状況の変化により、企業経営がどのように変化したかを説明できる。 (4) 政策担当者が、眼前の経済問題をどのように捉え、それをどのように解決したのかを説明できる。 (5) 経済発展がもたらす「光」の部分と、「影」の部分の説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート(4回)60% 期末試験40% (注1)期末試験を受験するには4回のレポートを欠かすことなく提出する必要がある。 (注2)期末試験を受験しなかった場合は単位を取得することができない。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習：講義で取り扱う時代について、中学校社会科の歴史的分野で学習したレベルでよいので、自身で復習し、時代背景についての予備知識を整理しておく。 事後学習：講義内容についてノートを整理するとともに、講義で紹介した文献や映像資料などについて調査する。		
キーワード/Keywords	工業化、戦時経済、戦後復興、高度成長、安定成長、バブル、平成不況		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書 なし 教材 レジュメを利用します。なお、配布方法はL A C Sを通じておこないます。 参考書 杉山伸也 『日本経済史 近世?現代』岩波書店、2012年。 中村宗悦 『テキスト現代日本経済史』学文社、2018年。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	?@経済の歴史を理解するには経済以外の現象についての理解も必要となります。講義ではその学びに必要な文献などを紹介していきます。 ?Aよりよき学びの環境作りを受講生一人ひとりが作り出すようにしてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	経済史の意義：歴史的な視点から経済を学ぶ意義を解説。
第2回	前史?@：江戸時代の経済発展について解説。
第3回	前史?A：1860年頃から1920年頃までの経済発展について解説。
第4回	1920年代の日本経済?@：都市化とこれを支えた電鉄業、電力業の発展を解説。
第5回	1920年代の日本経済?A：大戦パブルの処理過程で発生した金融恐慌について解説。
第6回	昭和恐慌：世界恐慌と金解禁政策が恐慌を引き起こす経緯とその影響を解説。
第7回	昭和恐慌：世界恐慌と金解禁政策が恐慌を引き起こす経緯とその影響を解説。
第8回	戦時経済：経済統制が企業や国民生活におよぼした影響を解説。
第9回	戦後の経済改革：経済民主化政策について解説。
第10回	戦後復興：傾斜生産方式、ドッジ・ライン、特需景気について解説。
第11回	高度成長?@：企業が経済成長に与えた影響を解説。
第12回	高度成長?A：経済成長によるライフ・スタイルの変化について解説。
第13回	安定成長：ドル・ショックとオイル・ショックを日本経済がどのように克服したかを解説。
第14回	バブル経済：バブル発生から崩壊に至るまでの経緯を解説。
第15回	平成不況：平成不況の発生原因と、それが現在に及ぼす影響を解説。

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/21		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586005702	科目番号 / Course code	05860057
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12721_005		
授業科目名 / Course title	現代経済と企業活動 (企業の仕組みと行動) / Organization and Behavior of Enterprise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	張 笑男 / Xiaonan Zhang, 山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	張 笑男 / Xiaonan Zhang		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	張 笑男 / Xiaonan Zhang		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	選択科目: テーマ名: 現代経済と企業活動 カテゴリー名: 多様性と共生 (医歯工環)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	choshonan nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	東南アジア研究所310		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義に関する質問等は本講義開講時間後教室にて順次受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講義は、会社法に関する基本的知識を提供する。		
授業到達目標/Course goals	会社法上の各種ルールの趣旨を理解し、企業の経済活動や時事問題を会社法の視点から考察できる ようになることを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	出席や講義中の発言など講義への貢献度 (20%)、講義中に提出するレポート (30%) および定期試 験 (50%) による。なお、欠席が5回を超える者については、成績評価の対象としない。また、遅刻 回数が5回を超える者については、成績評価の対象としないことがある。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	西山芳喜編『アクチュアル企業法 (第2版)』(法律文化社、2016)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)	LACSを通してレポートの提出・管理を予定しているため、パソコン等のLACSへの接続及び文字入力 が可能な端末 (スマホを除く) を講義開講教室に持参することが必要。		
学生へのメッセージ/Message for students	初回の講義において教科書・参考書について説明する。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション
第2回	企業と各種法規制
第3回	会社の概念と会社法
第4回	会社の種類と分類
第5回	株式会社の基本概念
第6回	会社の設立
第7回	株主と株式 (1)
第8回	株主と株式 (2)
第9回	中間まとめ (定期試験を含む)
第10回	コーポレートガバナンス総論
第11回	会社の機関 (1)
第12回	会社の機関 (2)
第13回	会社の資金調達
第14回	組織再編
第15回	企業結合
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190586006102	科目番号 / Course code	05860061
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMA 12731_005		
授業科目名 / Course title	現代経済と企業活動 (経済政策と公共部門) / Economic Policy and Public Sector		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山口 純哉 / Yamaguchi Junya		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	junya-y nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部東南アジア研究所2F215号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	E-mailにて質問を受け付けます。 junya-y@nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	なぜ政府や地方自治体など公共部門が存在するのか、われわれは公共部門にどのようにかわるべきなのか等について、経済学の考え方を踏まえた上で、現実の国際・地域社会で発生している社会課題を以下に克服すべきかについて考えます。		
授業到達目標/Course goals	1. 主体性をもって他者と協働できるようになる (?A?G)。 2. 国際・地域社会における公共の問題について説明できるようになる (?I)。 3. 公共の問題について批判的に検討できるようになる (?D)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	プレゼンテーション課題 (10点×5回=50点) + レポート課題 (50点) = 100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	担当教員の作成する資料や紹介するURLを講義前に読み込んでおくこと。		
キーワード/Keywords	市場の失敗、囚人のジレンマ、合成の誤謬		
教科書・教材・参考書/Materials	教員の作成したレジユメを用いる。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	わが国がかかえる社会的な問題について考えてみませんか。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
1	講義の目的や内容などのガイダンスおよびグループを編成するなど、講 義の準備を行う。	F
2	公共とは何か、学生同士で検討する。	B
3	公共とは何かを考える準備として、経済学の基礎を学ぶ。	F
4	公共とは何かを考える準備として、経済学の基礎を学ぶ。	A
5	公共とは何か、経済学の視点から定義する。	F
6	公共の問題を解決する手法を紹介する。	F
7	長崎の離島・半島の公共的な問題について考えてみる。	B
8	長崎の離島・半島の公共的な問題に関するプレゼンテーションを実施す る。	B
9	長崎市のまちづくりに関する公共的な問題について考えてみる。	B
10	長崎市のまちづくりに関する公共的な問題に関するプレゼンテーション を実施する。	B
11	東日本大震災の被災地を例に、自然災害からの復興について紹介する。	F
12	東日本大震災の被災地を例に、自然災害からの復興について考えてみる 。	B
13	東日本大震災の被災地を例に、自然災害からの復興についてプレゼンテ ーションを実施する。	B
14	前回までの講義内容以外に、長崎大学が引き起こしている公共の問題等 、受講生それぞれのテーマで公共の問題について考えてみる。	B
15	本講義の感想や意義を共有する。	B